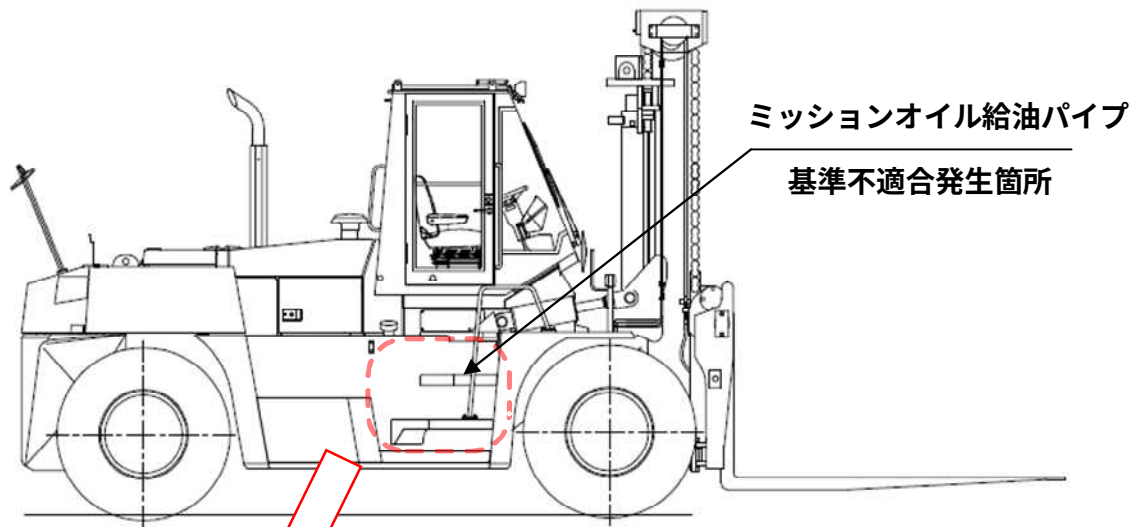
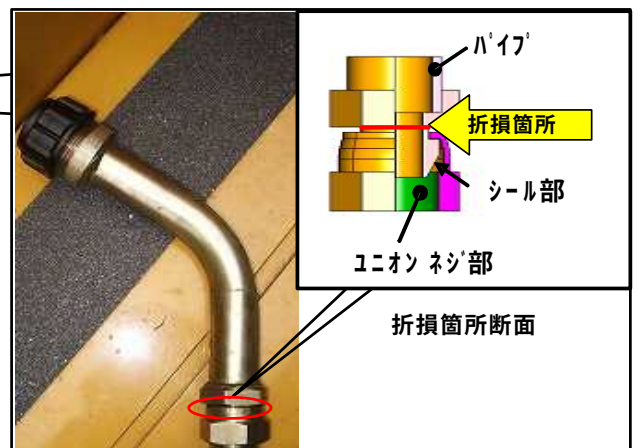
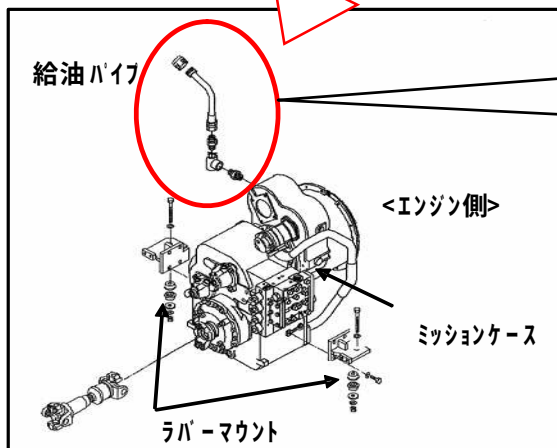


改善箇所説明図



【基準不適合発生箇所】



トランスミッションへの給油パイプの取り付け方法が片持ち構造となっているため、エンジン振動によりパイプが共振し、継ぎ手部に応力が集中し亀裂が発生する場合がある。そのため、亀裂箇所からトランスミッションオイルが漏れて路面へ滴下し、そのまま使用を続けるとパイプが折損して落下するおそれがある。

【改善措置内容】

全車両、当該パイプを対策品に交換する。

